

氏名	飯岡由紀子	部署	大学院研究科	職名	教授
研究分野	臨床看護学、がん看護学、看護教育、Women's Health、慢性期看護学				
学位	博士(看護学)				
学歴	聖路加看護大学看護学部看護学科、聖路加看護大学看護学研究科博士前期課程、聖路加看護大学看護学研究科博士後期課程				
経歴	兵庫県立看護大学助手、杏林大学保健学部看護学科助手、聖路加看護大学助手、聖路加看護大学准教授、東京女子医科大学看護学部教授				
所属学会(役職)	日本看護科学学会(査読委員)、日本がん看護学会(代議員・査読委員)、日本緩和医療学会、日本乳癌学会、東京女子医科大学学会(評議員)、クリティカルケア看護学会、日本小児看護学会、日本看護学教育学会、聖路加看護学会、日本女性医学学会(幹事)、日本女性心身医学会(評議員)				

## 【2017年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
<b>(1) 著作</b>					
1	がんの親をもつ子どもたちをサポートする本	共著	青海社、128-134、107、119、120、121、123	編集:有賀悦子、南川雅子 執筆者:小林真理子、小嶋リベカ、栗原幸江、平野和恵、加藤純、渡邊知映、量倫子、秋山正子、南川雅子、大沢かおり、高井伸太郎、西田正弘、有賀悦子、中島恵美子、遠藤太、飯岡由紀子	2017年6月
2	チームで学ぶ女性がん患者のためのホルモンマネジメント	共著	篠原出版新社、26、108、140-141、240-241、285-286、245-251	監修:青木大輔、上野直人、中村清吾 編集:佐治重衡、清水千佳子 著者:飯岡由紀子他44名	2017年7月
<b>(2) 論文</b>					
1	第82回東京女子医科大学学会総会シンポジウム「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン都市型がん医療連携を担う人材の実践的教育の成果(2)がん看護専門看護師	単著	東京女子医科大学雑誌、87(1・2号)、14-19	飯岡由紀子	2017年4月
2	「配慮が必要な学生」の学びにつなげる対応臨地実習における教育上の調整を考える 気分の落ち込みと学習意欲の低下が強く、気分の変動により学習に支障をきたしている学生への対応	単著	看護教育、58(7)、576-581	飯岡由紀子	2017年7月
3	「配慮が必要な学生」の学びにつなげる対応臨地実習における教育上の調整を考える 学習意欲や集中力の低下や思考の混乱がある学生への対応	単著	看護教育、58(9)、786-791	飯岡由紀子	2017年9月
4	「配慮が必要な学生」の学びにつなげる対応臨地実習における教育上の調整を考える 軽度の聴覚障害のある学生への対応	単著	看護教育、58(10)、872-87	飯岡由紀子	2017年10月
5	「配慮が必要な学生」の学びにつなげる対応臨地実習における教育上の調整を考える 痛みや行動制限がある学生への対応	単著	看護教育、58(11)、965-969	飯岡由紀子	2017年11月
6	「配慮が必要な学生」の学びにつなげる対応臨地実習における教育上の調整を考える 痛みや行動制限がある学生への対応	単著	看護教育、58(11)、965-969	飯岡由紀子	2017年12月
7	婦人科がんサバイバーの術後の苦痛と心配事の実態	単著	聖路加看護学会誌、21(1・2)	飯岡由紀子	2018年1月

8	「配慮が必要な学生」の学びにつなげる対応臨地実習における教育上の調整を考える 学生の学びを促す対応に向けたFDの考え方と試み	共著	看護教育、58(12)、1050-1057	吉本照子、飯岡由紀子、小川純子、松岡千代、遠藤和子	2018年1月
9	教育・学修支援専門職養成プログラムの公開講座「学生の抱える困難の理解と支援」に参加して考えたこと	単著	看護教育、59-(1)、48-52	飯岡由紀子	2018年2月
10	実践を変える研究【2】何がどこまでわかっていくのかを理解する:文献レビュー	単著	がん看護、23(3)、347-351	飯岡由紀子	2018年3月
<b>(3) 学会発表</b>					
1	ICU入室患者におけるリハビリテーションの現状と課題に関する文献検討	共著	日本クリティカルケア看護学会誌 13(2) p170	伊藤綾子、飯岡由紀子	2017年6月
2	末期心不全患者の症状緩和におけるオピオイド使用に影響する医療者側の関連要因	共著	第22回日本緩和医療学会学術集会	村田千穂、飯岡由紀子	2017年6月
3	End of Life Care実践のための支援プログラムの開発と有効性の検討:パイロットスタディ	共著	第22回日本緩和医療学会学術集会 抄録集 pS455	飯岡由紀子、渡邊直美、中山祐紀子、田代真理、榎本英子、高山裕子、村田千穂、秋山正子	2017年6月
4	終末期がん患者の褥創ケアにおいて看護師が体位変換を行わないと判断した理由に関する文献検討	共著	第22回日本緩和医療学会学術集会 抄録集 pS396	楯岡由弥華、飯岡由紀子	2017年6月
5	PMS/PMDDに対する年齢を考慮に入れた治療法の選択	共著	第46回日本女性心身医学学術集会抄録集、p71	小川真里子、吉丸真澄、飯岡由紀子、堀口文、牧田和也、高松潔	2017年7月
6	がん看護外来の看護師が抱く今後の課題—全国調査の結果から—	共著	第22回聖路加看護学会学術大会抄録集、p60	飯岡由紀子、峯川美弥子	2017年9月
7	日本におけるがん看護外来の看護実践—全国調査の結果から—	共著	第37回日本看護科学学会学術集会抄録集	飯岡由紀子、小林礼実、鈴木香織理、峯川美弥子、河合育世	2017年12月
8	看護基礎教育におけるTBLを用いた主体的育成教育プログラムの実践報告	共著	第37回日本看護科学学会学術集会抄録集	小林礼実、峯川美弥子、尾崎恭子、大久保由美子、飯岡由紀子	2017年12月
9	臨地実習において配慮が必要な学生に対する教育上の調整に関するFDプログラムの開発	共著	第37回日本看護科学学会学術集会抄録集	小川純子、飯岡由紀子、松岡千代、吉本照子、遠藤和子	2017年12月
10	転移性脳腫瘍により定位放射線治療(ガンマナイフ)を受けた患者の体験	共著	第37回日本看護科学学会学術集会抄録集	大場亜希子、飯岡由紀子	2017年12月
<b>(4) その他</b>					
1	教員としての教育観とその背景にある組織のあり方を考える—学生への対応に困った10事例を通して—	共著	「看護学教育におけるFDマザーマップ」対応型FDコンテンツ開発報告書	和住淑子、黒田久美子、高島尚美、飯岡由紀子、山本真実	2017年4月
<b>2. 競争的資金等の研究</b>					
	競争的資金等の名称		研究名、研究代表者・研究分担者の別		研究期間
1	文部科学省科学研究費(基盤研究B)		日本におけるがん看護外来のアウトカム評価指標の開発とがん看護外来の有効性の検討、研究代表者		2014~2017年度
2	文部科学省科学研究費(基盤研究C)		看護基礎教育における主体的育成教育プログラムの開発と教育効果、研究分担者		2015~2017年度
3	文部科学省科学研究費(挑戦的萌芽)		看護系大学の臨地実習における合理的配慮の構造化とFD・SDプログラム開発、研究代表者		2016~2019年度
<b>3. 教育業績</b>					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
<b>(1) 講義</b>					
1	慢性期看護学・がん看護学	2018.1			
2	看護研究・研究倫理	2017.12			
3	博士前期課程 成人看護援助論	2017. 10~2018. 1			
4	博士前期課程 看護倫理	2017. 10~2018. 1			

(2) 演習			
1	博士前期課程 看護学演習 (成人看護学)	2017. 10~2018. 1	
(3) 実習			
1	IPW実習	2017.6~2017. 10	
(4) 論文指導			
1	修士課程	2017. 4~2018. 3	主指導1名
(5) その他			
1	該当なし		
4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会等の講師			
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ
	開催年月		
1	「Wemwn's Health総論」	上智大学	「女性のライフサイクルと健康－更年期とヘルスケア」「尿失禁とヘルスケア」「骨粗鬆症とヘルスケア」
2	「助産理論」非常勤講師	慶應義塾大学	中高年女性の健康課題と支援
3	博士前期課程 コンサルテーション論 非常勤講師	東京女子医科大学	博士前期課程 コンサルテーション論 2単位
4	「ウィメンズヘルステ論Ⅱ」	聖路加国際大学	更年期・老年期女性の健康支援
5	ELNEC-J(The End-of-Life Nursing Education Consortium-Japan)	東京都区西部緩和ケア推進事業	「M10:質の高いエンドオブライフケア」
6	平成29年度 青森県立保健大学 看護学科	青森県立保健大学	現代の実習指導の課題～教育上の調整と合理的配慮～
7	助産師教育指導者研修	埼玉県立大学	配慮が必要な学生の教育上の調整
8	第16回 臨地実習指導者研修会	旭川厚生看護専門学校	配慮が必要な学生の学びにつなげる対応
2018年3月			
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	日本女性医学学会	庶務委員会、将来検討委員会	
2	日本女性心身医学学会	広報委員会	
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	サンケイリビング新聞社 サンケイリビング	更年期以降の女性ホルモンの減少による影響	2017年6月
5. 学内運営(委員会委員)			
1	研究倫理審査委員会		
2	研究推進委員会		
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	優秀演題(村田、飯岡:末期心不全患者の症状緩和におけるオピオイド使用に影響する医療者側の関連要因)	日本緩和医療学会	2017年6月
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	商標登録(ii-navi)		2016年
8. 特記事項			
	該当なし		